

[02_1] 統計数理研究表紙会報等

<https://hdl.handle.net/2324/12834>

出版情報：統計数理研究. 2 (1), 1948-05-10. 統計科学研究会
バージョン：
権利関係：

再 刊 の 辭

「統計數理研究」は、昭和 17 年以來休刊の止むなきに至つてゐたが、今度漸く再刊の運びに迄漕ぎつけ得たのは、吾々の何よりの喜びである。再刊は何日出来るかといふ會員からの問合せは矢の如く繁かつたが、今やつと責任の一端を果し得たような氣がする。

再刊に當つて、從來と違つた點を挙げると、第 1 に「統計數理研究」編集事務部を東京に移したこと、第 2 に投稿規定を全面的に改新し且つ嚴密にしたこと、第 3 に會員外の方々の購入の自由を擴大したことなどである。

再刊に當つては、從來の役員諸氏の盡力が大きかつたが、これからこれを育成して行くことは、全會員の協力支援に俟たなければならぬのは勿論である。一方に於いて非常に逼迫した出版事情があり、他方に於いて又同様に非常に切實な統計數理研究の要望がある。休刊數年に亘つたとはいへ、會員の研鑽は日に進んで來て居るし、吾が國の統計數理の研究もこの間劃期的なものがあつた。本誌はやがてこれらを反映して、更に大きな前進のためのオアシスを用意するものであらう。

統計數理の研究を中核として、廣く統計的研究に従事する科學者、統計事業に挺身する實務家の、相協力する純學術研究團體としての本會の性格は勿論從來通りであらう。と同時に、廣汎な社會層への、第一線の研究結果の普及といふことも、亦、われわれの關心事でなければならぬ。

「統計數理研究」編集部は、本誌の使命を明確に限定すると共に、統計學界の一機關として、他の諸機關との協同に於いて、斯界に貢獻することを祈念するものである。